

平成 2 8 年 度

社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会

事 業 報 告

# 平成28年度社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会 事業報告並びに収支計算書

## 目 次

### 【事業報告】

#### I 重点項目の取組み

1. 組織体制の基盤強化	1
2. 重点事業	4

#### II 事業報告

1. 地域福祉事業の推進	6
2. 相談援助事業の実施	8
3. 福祉資金貸付事業の実施	9
4. ボランティア事業の推進	9
5. 住民参加型在宅福祉サービス事業 （ふれあいサービス）の実施	11
6. 自動販売機設置経営事業の推進	12
7. 市委託事業の受託経営	12
8. 指定管理事業の受託経営	14
9. その他社協関連事業	20

# I 重点項目の取組み

## 1. 組織体制の基盤強化

### (1) 組織体制の強化

#### ◇理事会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
平成28年第3回	平成28年 5月27日	15人	平成27年度事業報告等、 4議案
平成28年第4回	平成28年 8月29日	13人	補正予算等、 2議案
平成28年第5回	平成28年12月20日	13人	定款の一部改正等、 5議案
平成29年第1回	平成29年 2月 8日	14人	定款の全部改正等、 5議案
平成29年第2回	平成29年 3月14日	14人	第26期会長の選任等、 9議案
平成29年第3回	平成29年 3月28日	14人	平成29年度事業計画等、 8議案

#### ◇評議員会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
平成28年第3回	平成28年 5月27日	30人	平成27年度事業報告等、 4議案
平成28年第4回	平成28年 8月29日	27人	補正予算 1議案
平成28年第5回	平成28年12月20日	26人	定款の一部改正等、 2議案
平成29年第1回	平成29年 2月 8日	29人	定款の全部改正等、 5議案
平成29年第2回	平成29年 3月28日	25人	平成29年度事業計画等、 5議案

#### ◇決算監査・中間監査の実施

○決算監査：平成28年 5月17日

平成27年度業務監査及び会計監査

○中間監査：平成28年11月15日

平成28年度上半期の業務監査及び会計監査

#### ◇各種委員会等の開催

○正副会長会議

適宜開催し、理事会・評議員会提出議案等について協議を行いました。

・開催回数：6回

○総務委員会

- ・第1回：平成28年11月1日（出席者9人）  
社会福祉法の改正について  
第26期役員等の選任について 他

○財政委員会

- ・第1回：平成28年 6月 1日（出席者5人）  
平成28年度社協会員会費の募集等について

○広報委員会

- ・第1回：平成28年 6月 1日（出席者5人）  
広報「社協あさか」7月号の編集発行等について
- ・第2回：平成28年 9月 1日（出席者7人）  
広報「社協あさか」10月号の編集発行等について
- ・第3回：平成28年12月 1日（出席者8人）  
広報「社協あさか」1月号の編集発行等について
- ・第4回：平成29年 3月 2日（出席者7人）  
広報「社協あさか」4月号の編集発行等について

○評議員選任・解任委員会

- ・第1回：平成29年 1月16日（出席者5人）  
第27期社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会評議員の選任について

◇苦情解決の適切な対応

各種福祉サービスについて、利用者等からの苦情に対し適切な対応で解決を図りました。

○苦情件数 1件

- ・受付日：平成28年4月7日
- ・部 署：膝折放課後児童クラブ
- ・内 容：職員の対応について

◇総合相談体制の構築

社会福祉法の改正により内部統制の強化などが求められ、業務遂行及び責任体制の確保、地域福祉の推進、各種相談業務や窓口サービスの拡充を図るため、社協法人化50周年を機に組織の改編を行いました。

また、住民に分かりやすく、利用しやすい総合相談体制を構築するため、全職員の電話・窓口対応能力の向上に努めるとともに、相談の現状の把握を行いました

◇事業評価制度の実施

限られた予算や社会資源の中で、より効果的で効率的な事務事業の実施やサービスを提供することを目的に、事業の妥当性や有効性、効率性など、様々な視点から見直し、評価を行いました。

(2) 人材育成と専門性の向上

◇職員の目標管理体制の実施

社協職員基礎力チェックリスト（自己評価シート）を作成し、職員が個々に目標を立て、達成に向けての取組みを意識しながら、業務を遂行していく意識の醸成を図るとともに、法人組織として、継続的な福祉人材の育成を図るための目標管理体制の仕組みづくりの検討を行いました。

#### ◇職員提案制度の導入

職員提案制度を導入することで、職員間や部署間の連携を深めるとともに、組織全体で住民や利用者からの信頼と様々な地域課題や福祉ニーズ、社会の変化に柔軟に対応できる体制づくりを目的に、先駆的に実施している他市社協や他市の調査、研究を行いました。

### (3) 財政基盤の強化

#### ◇寄付金実績報告

当会の地域福祉事業の推進にご賛同いただき、多くの方々より寄付をいただきました。

○個人：延べ17件 528,054円

○団体：延べ20件 737,523円

#### ◇社協会員の加入促進

社協活動への理解と参加の促進及び自主財源の確保のため、自治会・町内会、市内外事業所と連携し会員会費の募集を実施しました。

また、会員会費をはじめとする自主財源が年々減少傾向にある状況を踏まえ、財源を確保するためのアイデアを各部署から募集しました。

(一般会員500円、賛助会員1,000円、特別会員5,000円)

○強化月間：7月1日～7月31日

○目標額：9,000,000円

○実績額：8,014,983円

#### ○加入状況内訳

	平成28年度	平成27年度
一般会員	4,722世帯	4,535世帯
賛助会員	400世帯	394世帯
特別会員	165世帯	172世帯
500円未満	1,744世帯	1,408世帯

#### ○社協会員会費募集説明会

平成28年6月16日 朝霞市総合福祉センター会議室

#### ◇赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分金（関連20ページ参照）

地域福祉推進の重要な財源の確保のため、自治会・町内会、関係機関・団体と連携し、赤い羽根共同募金運動を実施し、県共同募金会より配分金を受領しました。

#### ○赤い羽根共同募金運動説明会

平成28年9月15日 朝霞市総合福祉センター会議室

#### ○配分金額

	平成28年度	平成27年度
一般募金配分金	3,846,000円	3,935,000円
歳末たすけあい募金配分金	4,800,000円	5,185,000円

#### ◇経費節減の周知・徹底

職員一人ひとりのコスト意識を高め、組織全体で経費の節減に取り組むため、経費削減マニュアルを作成し、周知・徹底を図るとともに、経費削減評価表により振り返りを行いました。

#### (4) 指定管理事業の継続的確保

##### ◇各指定管理事業の次期指定に向けての提案の実施

サービスの質の向上と本会らしいサービスの提案を行い、平成29年度から5年間、朝霞市から指定管理者として、引き続き、次の事業の指定を受けました。

- 朝霞市総合福祉センター指定管理事業
- 朝霞市老人福祉センター指定管理事業
- 朝霞市児童館指定管理事業
- 朝霞市放課後児童クラブ指定管理事業
- 朝霞市障害者ふれあいセンター指定管理事業

## 2. 重点事業

### 【プロジェクト①】

#### 支え合い・助け合いの心づくりと仕組みづくり

##### ◇出前講座のメニューの充実・実施

住民の学習機会の拡充と社協への理解を深めるため、民生委員・児童委員協議会や福祉団体等からの依頼により、「社協について」や「車いす体験・ガイドヘルプ」等、身近な福祉の情報を交えた講座を職員が講師となり実施しました。

また、メニューの充実を図るにあたり、社協内で実施されている出前講座について調査を行いました。出前講座として把握している以外にも、各部署が直接依頼を受けて延べ37回の講座を提供している実態もあり、既存のメニューに加えられるプログラムが社協内にあることがわかりました。

	平成28年度	平成27年度
実施回数	延べ11回	延べ12回

##### ◇ボランティア講座の実施

東洋大学の学生ボランティアセンターと協力し、東洋大学学園祭において福祉についてのブースを出展し、ボランティアクイズやポッチャの体験、共同募金活動を実施し、福祉体験を行いながら社協についても地域の方々に知っていただく機会となりました。

(詳細は10ページ参照)

##### ◇福祉活動団体の状況調査及び相談支援

福祉活動団体の活動状況調査を実施し、団体の活動内容や社協との関わりについて改めて確認しました。その結果、団体が抱える課題が明確になり、必要な支援を行うことができました。

- 相談支援団体：ふれあい・いきいきサロン、会食グループ等16団体
- 相談支援内容：団体の運営、助成金の案内、会員の募集等

##### ◇地域懇談会の実施

小地域福祉活動の啓発および取り組みへのきっかけづくりとして、市内5地区で地域懇談会を開催しました。「地域の安心なところ、心配なところ」をテーマに住民および関係機関職員で意見交換を行い、地域課題の共有を図ることができました。(詳細は6ページ参照)

##### ◇小地域福祉活動の啓発

市内5地区で地域懇談会を開催し、住民と共に地域のつながりについて考えながら小地域福祉活動の啓発を図りました。(詳細は6ページ参照)

## 【プロジェクト②】

### 安全・安心に暮らせる環境づくり

#### ◇災害ボランティアセンターの設置訓練の実施

災害ボランティアセンターの立上げに際し、職員緊急連絡網の機能確認訓練と災害時職員参集訓練を行いました。この訓練により、災害時の初動体制や緊急時の対応について、職員間で共通認識を持つことができました。(詳細は11ページ参照)

#### ◇地域ごとでの見守り活動の実施

地域懇談会において「地域の安心なところ、心配なところ」について意見交換をする中で、身近な地域での見守り活動への啓発を図ることができました。また、溝沼地区総合防災訓練や第五小校区防災訓練に職員が参加して、地域で実践されている防災活動を把握することができました。

#### ◇関係機関との連携

地域懇談会において5つの地域包括支援センターや朝霞地区医師会、東洋大学、民生委員・児童委員、朝霞市等の関係機関との情報交換を図りました。また、各部署の業務を通じて、地域課題の解決を図るための会議や連絡会に参加し、連携を図りました。

○利用者カンファレンス等、多職種・多団体が参加した会議の開催(社協主催):9回

○参加団体:延べ329団体

## 【プロジェクト③】

### 市民の暮らしや活動を支える体制づくり

#### ◇生活再建のための相談支援

生活に困窮した方からの相談に対し、生活福祉資金貸付制度の利用を支援するほか、他機関とも連携し、生活再建のための社会資源や他制度へつなぐ支援を行いました。(詳細は9ページ参照)

#### ◇ホームページや広報「社協あさか」の内容の充実

ホームページではボランティア情報コーナー掲示板を追加し、各種ボランティア講座や講演会、ボランティア団体の情報提供を図りました。また、広報「社協あさか」の内容を見直し、地域で活躍する住民を紹介する「地域のキラリ人」の連載コーナーを新設して親しみやすい紙面内容に努めました。

#### ◇アンケート調査の実施

社協の各施設及び事業において、住民の福祉ニーズを聞き取る手段として「利用者満足度調査」を活用して調査を実施しました。この調査では、主に社協が提供する福祉サービスについての意見を聞き取ることができました。

○調査対象:児童館、放課後児童クラブ、老人福祉センター、はあとぴあ障害者多機能型施設の利用者等

○回答者数:1,906人

## II 事業報告

### 1. 地域福祉事業の推進

地域で支え合える仕組みがつかれるよう、住民の方々と一緒に取り組みを行うとともに、地域で活動している団体に対し幅広い助成を行うことで、地域の活動の支援を行いました。

#### ◇小地域福祉活動の啓発及び地域懇談会の実施

##### 【地域懇談会の実施】

##### ○地域懇談会（～みんなで話そう地域のこと～）

誰もが地域で孤立せず、つながりを持つことができるよう、住民自らが地域の課題や自分たちができることを話し合う場として、市内を5地区に分けて実施しました。

- ・期 日：平成29年2月17日～2月24日（全5回）
- ・場 所：産業文化センター、総合福祉センター、根岸台市民センター、  
膝折市民センター、市民会館
- ・内 容：オリエンテーション、ワークショップ、発表
- ・参加者：延べ134人

#### ◇地域福祉活動団体との連携・活動支援

市内で活動する高齢者、障害者、子育てサロングループの活動支援として、交流会を実施しました。

##### ○サロン活動者のためのレクリエーション研修 ～サロン活動を活性化するために～

- ・共 催：埼玉県社会福祉協議会
- ・期 日：平成28年11月11日
- ・場 所：朝霞市総合福祉センター アリーナ
- ・参加者：48人（16団体）

#### ◇地域福祉活動団体等への助成

市内で活動する高齢者、障害者、子育てサロングループや福祉団体等に対して、運営にかかる費用の助成を行いました。

	平成28年度		平成27年度	
	団体数	助成金額	団体数	助成金額
ふれあい・いきいきサロン	17団体	852,000円	17団体	1,027,500円
福 祉 団 体	12団体	435,000円	12団体	795,000円
ボランティア団体	15団体	455,000円	15団体	485,000円

#### ◇広報紙「社協あさか」やホームページ等の内容の充実

##### ○「社協あさか」の発行 年4回

- ・発行：7月・10月・1月・4月号
- ・部数：1回 36,000部

##### ○社協ホームページの充実

広報紙「社協あさか」や定期的に発行される各施設のおたよりなどを掲載、各種イベントや講演会の案内、身近な福祉の情報など社協の多様な事業に関する情報提供を行いました。

#### ◇社協出前講座のメニューの充実及び周知啓発（再掲4ページ参照）

##### ○社協出前講座の実施

◇福祉有償運送事業の実施

車イス利用者等身体的理由により、移動困難者の社会参加を促進し、在宅福祉の増進を図るため、福祉車両を使用し有償ボランティアの協力を得て移送サービスを提供しました。

	登録利用者	登録協力者	運送回数	運送人数
平成28年度	10人	13人	延べ112回	延べ112人
平成27年度	13人	21人	延べ129回	延べ148人

◇車いす・車いす専用リフト車の貸出し

○車いす：49件（外出・通院等）

○車いす専用リフト車

車いす専用リフト車3台を外出支援として貸出ししました。

	平成28年度	平成27年度
回数	延べ10回	延べ38回

◇地域福祉活動の担い手の育成

ボランティアとして活動したい人を対象に講座を開催し、ボランティアについての理解を深めていただき、実際に活動者として活躍してもらえるよう支援することを目的に実施しました。（詳細は10ページ参照）

◇余暇支援・交流事業（障害児・者）の実施

【友・遊びまわりスクール】

○対象者：障害児（小・中・高校生）

○期 日：平成28年6月4日～平成29年2月4日 全5回

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○内 容：工作・調理・運動等

○参加者：

	人 数	内 訳
平成28年度	延べ58人	障害児31人、ボランティア27人
平成27年度	延べ56人	障害児44人、ボランティア12人

【知的障害者スポーツレクリエーション】

○対象者：18歳以上の知的障害者

○期 日：平成28年6月11日～平成29年3月11日 全10回

○場 所：朝霞市総合福祉センター アリーナ

○参加者：

	人 数	内 訳
平成28年度	延べ194人	知的障害者162人、ボランティア32人
平成27年度	延べ184人	知的障害者162人、ボランティア22人

◇彩の国あんしんセーフティネット事業の支援

福祉資金貸付事業（生活福祉資金貸付事業および社協福祉資金貸付事業）にて相談のあった世帯のうち、緊急の支援が必要な世帯に対して、彩の国あんしんセーフティネット事業の支援員と連携して対応しました。

	平成28年度	平成27年度
福祉資金貸付事業相談	延べ140件	延べ132件
上記のうち、セーフティネット事業による支援	10人	6人

#### ◇ホームクリーニング事業の実施

歳末たすけあい運動として、市内のひとり暮らし高齢者や障害者世帯を対象に、民生委員やボランティアの方の協力を得て、地域住民どうしの交流を図りながら、日頃の届かないところの掃除を行い、気持ち良く新年を迎えていただくことを目的に実施しました。

	平成28年度	平成27年度
期間	10月3日～11月30日	10月1日～11月30日
件数(世帯)	64世帯	58世帯
活動者	23人	20人

## 2. 相談援助事業の実施

### (1) 福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートネット)の推進(県社協委託事業)

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスの援助を行いました。

	平成28年度	平成27年度
生活支援員	7人	5人
活動日数	170日	185日
相談件数	668件	552件
利用契約者	10人(認知症高齢者3人、知的障害者5人、精神障害者2人)	10人(認知症高齢者2人、知的障害者6人、精神障害者2人)

#### ◇事業の周知啓発

社協内情報コーナーにパンフレットの設置及び社協ホームページにサービス案内を掲載し、事業の周知を図るとともに、朝霞市主催の「平成28年度市民のための成年後見制度実務研修」においてサービス紹介を行いました。

○期 日：平成29年2月8日

○場 所：朝霞市コミュニティセンター

#### ◇生活支援員研修会の実施

アールキューブ株式会社あんしんネット(遺品整理・福祉整理)による無料講演「高齢者の孤独死の実態と予防(高齢者のゴミ問題)」を実施し、近年問題視されている高齢者の孤独死やゴミ問題について現場の声を聞き、今後の地域での見守りと支援の大切さを学びました。

また、生活支援員としての資質の向上を図るため、県社協主催の生活支援員専門研修会に参加しました。

### (2) 心配ごと相談所事業

家族や仕事の問題等、日常生活上のさまざまな相談に対し電話と対面による相談を実施しました。

○相談員：6人(民生委員)

○対面相談：第1・3・5金曜日 午後1時30分～3時30分

溝沼老人福祉センター相談室

○電話相談：第2・4金曜日 午後1時30分～3時30分

○相談件数：延べ11件(昨年度25件)

※平成29年度より総合相談支援係を設置し、相談には職員が対応するため、平成29年3月31日で心配ごと相談所事業は廃止しました。

#### ◇事業の周知啓発

広報紙「社協あさか」等への事業案内の掲載の他、チラシを作成し市内公共施設、サロン等に配布しました。

また、会員会費説明会等においても事業説明を行い、周知啓発に努めました。

#### ◇相談員研修会の実施

相談員としての資質の向上のため、福祉サービス利用援助事業生活支援員研修会と合同で実施しました。

○期 日：平成平成29年1月31日

○場 所：朝霞市総合福祉センター 会議室

○内 容：『改めて問う。地域の見守りと支援の大切さ…』高齢者の孤独死の実態と予防

○参加者数：11人（昨年度9人）

#### (3) 相談支援体制づくり

相談、問い合わせに対し、適切な関係機関を紹介しました。また、社協内の各部署と連携、情報共有を図り、迅速かつ明瞭に対応できる体制づくりに努めました。

### 3. 福祉資金貸付事業の実施

#### (1) 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

支援を必要とする低所得者世帯及び療養や介護を要する高齢者・障害者世帯等に必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

○貸付相談：延べ132件（昨年度 延べ126件）

○貸付件数： 6件（昨年度4件）

#### (2) 社協福祉資金貸付事業

臨時的な出費や応急的な資金を必要とする低所得者世帯に対し、必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

○貸付相談：延べ8件（昨年度 6件）

○貸付件数： 1件（昨年度 1件）

○償還完了件数： 0件（昨年度12件）

### 4. ボランティア事業の推進

#### ◇ボランティア相談及びコーディネート

ボランティアの活動状況（ボランティア保険加入状況より）

	平成28年度	平成27年度
個人	126人	113人
団体	668人 (61団体)	733人 (65団体)

○団体利用室利用状況：登録団体 27団体 延べ利用件数195件

○録音室利用状況：利用団体 2団体 延べ利用件数 80件

#### ◇ボランティア情報の収集、発信

ボランティアセンターの活動やボランティアに関する情報、取り巻く状況等をボランティアや関係団体、地域住民に理解してもらうためにボランティアニュースを発行し、配布しました。

○発行回数：年4回（5月、7月、12月、3月/1回2,000部）

◇朝霞地区四市福祉教育研修会の開催

校長会にて朝霞地区四市福祉教育研修会の周知を図り、研修会では福祉体験や当時者の講演を実施しました。研修の最後には朝霞市内の参加者で福祉教育について情報交換会を行いました。また、福祉教育協力ボランティアを育成するため、講座を開催しました。

○対象者：四市内で福祉教育に関わっている教職員及びボランティア

○期 日：平成28年7月28日・29日

○場 所：十文字学園女子大学

○内 容：当事者講演、グループワーク、福祉体験（車いす、アイマスク、手話）

○参加者：

	平成28年度	平成27年度
四市合計	延べ90人	延べ109人
朝霞市内	延べ15人	延べ 19人

【福祉教育の相談、支援】

市内小学校における福祉教育のコーディネート・支援、福祉体験教室等を行いました。

○依頼件数：

	平成28年度	平成27年度
件数	延べ31件	延べ28件
小学校	9校+中学校2校	9校

○内 容：体験学習（車いす・ガイドヘルプ・手話・点字）

講演「視覚障害者への理解」

○福祉教育用機器貸出件数：49件（車いす・アイマスク・点字盤等）

（小中学校、市内福祉施設、企業等）

◇ボランティア講座の開催及び活動者の支援

【ボランティア入門講座】

○福祉教育協力ボランティア講座

・期 日：平成28年8月24日

・場 所：朝霞市総合福祉センター 会議室

・内 容：車いす、アイマスク体験 福祉教育について

・参加者：3人

◇ボランティア体験プログラムの実施

子どもから大人まで誰もが気軽に参加できる体験メニューを用意し、ボランティア参加のきっかけづくりを目的に実施しました。

○対象者：市民及び近隣のボランティア活動体験希望者

○期 間：平成28年7月～10月（強化月間7・8月）

○場 所：市内各福祉施設等

○内 容：保育園、福祉施設等の19メニューの中から体験学習

○参加者：延べ185人（昨年度 延べ207人）

◇青少年ボランティア講座の開催

【青少年ボランティア講座】

○期 日：平成28年11月5日・6日

○場 所：東洋大学

○内 容：ボランティアクイズ、共同募金活動、ボッチャ

○参加者：150人（小・中・高校生・保護者等）

◇ボランティアバス事業の実施（東日本大震災復興支援事業）

東日本大震災復興支援事業として、ボランティアバス運行事業を実施し、南相馬市小高地区でボランティア活動を行いました。

- 対象者：朝霞市内在住・在勤・在学で18歳以上（高校生除く）
- 期 日：平成28年10月29日
- 場 所：福島県南相馬市小高地区
- 内 容：自宅敷地内の竹林伐採
- 参加者：18人

◇災害ボランティアセンター設置訓練の実施

【災害時職員参集訓練】 【再掲5ページ】

災害ボランティアセンターの立上げに際し、職員緊急連絡網の機能確認訓練と災害時社協職員参集訓練を行いました。この訓練により、災害時の初動体制や緊急時の対応について、職員間で共通認識を持つことができました。

<緊急連絡網の機能確認訓練>

- 期 日：平成29年1月9日
- 内 容：現行の緊急連絡網が正常に機能し、緊急事態時に職員で情報を正しく伝達することができるかを検証しました。

<災害時参集訓練>

- 期 日：平成29年2月11日
- 内 容：勤務時間外に大規模災害が発生した際の職員初動体制を確認するため、参集体制及び参集所要時間を検証しました。
- 参加者：職員98人

【災害ボランティア講座】

関東東北豪雨により災害ボランティアセンターを立ち上げた栃木県鹿沼市社会福祉協議会職員と、運営に関わったボランティア団体の代表を講師に招き、災害発生時から災害ボランティアセンター立ち上げまでの経緯について講演していただきました。講演終了後、クロスロードゲームを実施し、災害について学んでいただきました。

- 期 日：平成29年2月25日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター 会議室
- 講 師：栃木県鹿沼市社会福祉協議会 菊池氏  
ボランティアグループ チームかぬま代表 山ノ井氏
- 参加者：31人

5. 住民参加型在宅福祉サービス事業（ふれあいサービス）の実施

◇ふれあいサービス事業

住民の参加と協力により、高齢者や障害者、子育てなどで日常生活上の支援を必要とする方に対し、有償の家事援助、外出援助、子育て支援等を行いました。

	登録利用者	登録協力者	派遣協力者	延べ派遣日数	延べ派遣時間数
平成28年度	77人	96人	43人	1,093日	1,719時間
平成27年度	69人	88人	40人	1,096日	1,631時間

◇ふれあいサービス協力員研修会（ホームクリーニング事業と共催）

ふれあいサービス活動の理解を深め、活動の推進を目的として、換気扇、窓掃除の勉強会、協力員同士の意見交換会等を実施しました。

○期 日：平成28年9月6日

○場 所：朝霞市総合福祉センター会議室

○参加者数：20人（うち ホームクリーニング活動者5人）

◇ふれあいサービス協力員研修会

ふれあいサービス活動時に、急病やケガなどの場面に出くわした場合の対処方法について講習会を実施しました。

○期 日：平成29年2月1日

○場 所：朝霞市総合福祉センター会議室

○参加人数：23人

6. 自動販売機設置経営事業の推進

◇自動販売機設置経営事業

収益金を地域福祉の増進に役立てるため、自動販売機設置経営事業を実施しました。

○自動証明写真機：1台（市役所庁舎内）

収益金：164,199円

○自動販売機（4月～6月）

収益金：708円

※パンやこっぺの自動販売機は、平成28年6月末に契約終了しました。

○小型玩具自動販売機（ガチャガチャ）：2台（朝霞市総合福祉センター館内）

収益金：35,200円

※平成28年7月26日に商工会女性部より社会福祉活動の一環として寄贈されました。

○収益金：合計200,107円（昨年度 197,818円）

7. 市委託事業の受託経営

(1) 手話通訳者等派遣事業

手話を必要とする聴覚障害者等の生活におけるコミュニケーションの円滑化、社会参加の促進を図るため手話通訳者の派遣を行いました。

○派遣依頼件数：605件（個人455件・自治体72件・学校33件・団体45件）

○派遣件数：551件

○派遣人数：679人 専任手話通訳者 延べ362人

登録手話通訳者 延べ304人

県、都などからの派遣協力 13人

◇手話通訳者の育成

手話講習会	期 日	参加者	講 師	アシスタント
入門	平成28年5月 ～10月	20人	小林 信恵氏 (国立リハビリテーション)	あさか手話サークル 「あじさい」
基礎	平成28年10月 ～平成29年3月	15人	小林 信恵氏 (国立リハビリテーション)	あさか手話サークル 「あじさい」
中級	平成28年5月 ～10月	28人	越後 節子氏 (国立リハビリテーション)	あさか手話サークル 「あじさい」
養成・前半	平成28年10月 ～平成29年3月	10人	越後 節子氏 (国立リハビリテーション)	選任手話通訳者

◇朝霞市登録手話通訳者試験

- 期 日：平成28年12月10日
- 受験者：2人
- 合格者：1人

◇手話通訳者等派遣事務所主催講演会

- 期 日：平成29年3月19日
- 講師：宮澤典子氏（全国手話通訳問題研究会理事）
- 講演テーマ：「ユーダから見たろう文化聴文化」
- 参加者：25人

(2) 障害者就労支援センター業務

市内在住の障害のある方やその家族、また関係する事業所、施設、教育、医療機関等を対象に、障害のある方の就労支援と生活支援を総合的に行うことにより、一般就労の拡大を図るとともに、自立と社会参加の促進を目的に支援を行いました。

- 登録者数：282人（新規登録者36人）  
（身体39人・知的70人・精神162人・その他11人）
- 就職者数：32人（前年度33人）
- 就職先の主な業種

	身体障害	知的障害	精神障害
クリーニング受付	1人		
事務（PC入力、ファイリング等）		2人	8人
清掃（介護老人保健施設）		1人	
販売（スーパー、アパレル）		3人	
物流（メール便の仕分け等）		2人	
倉庫内作業（書籍の出荷、商品の袋詰め等）		2人	4人
医療（臨床検査技師）			1人
就労継続支援A型			8人
計	1人	10人	21人

○事業所・関係機関との連携

新規事業所開拓	68件 (前年度58件)	雇用相談	延べ 872件 (前年度延べ883件)
調査研究・普及啓発	延べ21件 (前年度延べ34件)	関係機関との連携	延べ1,341件 (前年度延べ1,614件)

○余暇支援事業

- ・期 日：平成28年9月25日
- ・内 容：朝霞市ふれあいスポーツ大会参加
- ・場 所：朝霞市総合体育館
- ・参加者数：10人

### (3) はあとびあ障害者相談支援センター業務

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう身体の状態、環境等に応じて、利用者及びその保護者からの相談に対し、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携により、生活全般の支援等を行いました。

平成28年度は、職員を1人増員し、更なる相談支援体制の充実に努めたことにより、登録者、相談件数、サービス等利用計画作成数が大幅に増えました。

平成28年度	身体	知的	精神	高次脳機能	計
登録者数	58人	124人	83人	1人	266人
相談件数	1,191件	3,166件	2,367件	0件	6,724件
計画相談契約者数	26人	79人	34人	1人	140人
支援内容	◇福祉についての情報提供・総合的相談。 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明・紹介・仲介。 ◇福祉事務所、児童相談所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携。 ◇療育相談（発達に心配のある子どもに関すること）。 ◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援。 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援。 ◇権利擁護に関する支援等。				

平成27年度	身体	知的	精神	高次脳機能	計
登録者数	48人	88人	75人	1人	212人
相談件数	573件	1,544件	1,844件	0件	3,961件
計画相談契約者数	18人	38人	28人	1人	85人

## 8. 指定管理事業の受託経営

### (1) 朝霞市総合福祉センター指定管理事業

#### 【朝霞市総合福祉センター管理】

地域福祉の向上を図るため、各種の福祉サービスや情報、活動の場を提供する複合施設の建物・設備・備品の総合管理を行いました。

○開館日数：293日

○共用施設利用状況：713件 延べ8,088人

(集会室、社会適応訓練室、調理実習室、介護者教育室)

#### ○消防訓練の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、訓練を実施し技術の向上を図りました。

・第1回 平成28年 9月 7日 参加者：133人

・第2回 平成29年 3月15日 参加者：103人

#### ○はあとびあふれあい祭り

障害の有無や世代に関わらず交流を図ることを目的に実施し、ふれあい祭り実行団体の活動内容の紹介も取り入れました。

・期 日：平成28年11月23日

・来 場 者：延べ1,091人

【はあとびあ障害者多機能型施設】

障害者総合支援法に基づき、生活介護における日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練等、多機能型施設としてのサービスを提供しました。

①開所日：月曜日～金曜日

②利用者数（年度末）

	平成28年度		平成27年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	11人	10人	11人	9人
就労継続支援B型	44人	43人	44人	42人
合計	55人	53人	55人	51人

③通所状況

○送迎サービスの他、自転車、徒歩等による自主通所

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業

平成28年度		平成27年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
18社 社協6部署	2,821,137円	16社 社協3部署	2,534,927円	食品容器シール貼り、熱処理部品スプリング通し、封入封緘、タオル・入浴剤箱詰め、靴下ストック返し作業、市内幼稚園の園内清掃、コンビニ景品封入れ等

○社会参加活動

児童館祭り喫茶参加、赤い羽根共同募金（街頭募金）、自主製作品展示販売会

⑤花壇植栽管理整備事業（市委託事業）

ふれあい花壇、朝霞駅南口広場花壇、朝霞市役所庁舎内プランターの植栽、灌水、除草、清掃等の管理整備

平成28年度		平成27年度	
業務内容	売上	業務内容	売上
ふれあい	4,607,870円	ふれあい	4,607,870円
朝霞駅南口 広場	869,400円	朝霞駅南口 広場	869,400円
朝霞市役所 庁舎内	129,600円	朝霞市役所 庁舎内	64,800円

⑥喫茶室「お花畑」の運営（毎週火曜日～金曜日）

平成28年度			平成27年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
187日	3,241人	2,523,590円	178日	2,713人	2,817,310円

○外部出店：市内児童館の祭りに出店

⑦売店「はっぴい」の運営（毎週火曜日～金曜日）

平成28年度			平成27年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
188日	10,019人	4,209,975円	195日	11,695人	4,102,470円

○出張販売：市役所、地域包括支援センターモーニングパーク等に出店

⑧主な年間行事

保護者懇談会及び個別面談、日帰り課外体験研修、彩夏祭「鳴子踊り」、消防訓練、ふれあいスポーツ大会等

⑨保健衛生

利用者健康診断、精神科健診、歯科検診、成人病予防事業

⑩ボランティアの受入

○受入人数：7人

○活動内容：売店及び喫茶、利用者の作業見守り等

【地域活動支援センター事業】

障害者総合支援法に基づき、障害者の方々に対して、入浴や給食サービスを行う他、心身機能の維持・向上と家族の方々の介護負担の軽減を図るために、生活指導、機能訓練、社会適応訓練、身体介護等のサービスを提供しました。

○主な活動：療育音楽、園芸療法、健康増進、作業療法、理学療法、言語療法、カラオケ、書道、手芸、誕生会、調理体験、調理実習、季節の外出、買い物外出、日帰り課外体験、赤い羽根共同募金（街頭募金）、創作、市役所販売、個別面談、消防訓練等

○開所日：火曜日～土曜日

○実利用人数：延べ 266人

○利用回数：延べ1,921回

※本事業は、平成29年3月31日をもって終了しました。終了に向け平成28年7月より利用者及びご家族、各事業所、関係機関への説明を実施した後、利用者の移行を開始し、平成29年3月31日、全利用者の移行を完了しました。

【老人デイサービス事業】

介護保険法に基づき、要介護及び要支援認定を受けた在宅の援護が必要な方に、入浴や給食サービスを行う他、心身機能の維持・向上や家族の方々の介護負担の軽減を図るために、生活指導、機能訓練、介護等のサービスを提供しました。

○主な活動：個別機能訓練、集団機能訓練、はつらつ体操、敬老会、老デイ夏祭り、季節の外出（花見）、手芸、書道、茶道、音楽療法、誕生会、消防訓練等

○開所日：火曜日～土曜日

○実利用人数：延べ 139人

○利用回数：延べ1,005回

※本事業は、平成29年3月31日をもって終了しました。終了に向け平成28年7月より利用者及びご家族、各事業所、関係機関への説明を実施した後、利用者の移行を開始し、平成28年10月31日、全利用者の移行を完了しました。

【ホームヘルプサービス事業】

介護保険法に基づき、要介護及び要支援認定を受けた方で、日常生活を営むのに支障がある方及び介護保険制度の要介護認定で「自立」と認定された方、障害者総合支援法に基づき、在宅の心身障害者（児）等で入浴、食事、排泄等の便宜を必要とする方へ、ホームヘルパーを派遣して日常生活の世話や身体介護等のサービスを提供しました。

また、介護技術等講習会や「みんなで支える認知症」と題して市民向け講座を全3回実施しました。

○主な業務：入浴・排泄・食事の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言、外出時における移動の介助、その他生活全般にわたる援助等

○介護保険居宅サービス

開所日数	294日			
介護給付事業	実利用者人数	119人	延べ利用回数	954回
予防給付事業	〃	88人	〃	517回

○障害者居宅サービス

開所日数	294日			
身体障害者	実利用者人数	41人	延べ利用回数	466回
知的障害者	〃	31人	〃	386回
精神障害者	〃	67人	〃	365回

※本事業は、平成29年3月31日をもって終了しました。終了に向け平成28年7月より利用者及びご家族、各事業所、関係機関への説明を実施した後、利用者の移行を開始し、平成28年12月31日、全利用者の移行を完了しました。

(2) 朝霞市障害者ふれあいセンター指定管理事業

【朝霞市障害者ふれあいセンター あさか福祉作業所】

平成28年4月1日にふれあいセンターを新規開設し、施設の建物・設備・備品の総合管理を行うとともに、障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練等のサービスを提供しました。また、新たに事業を開始した就労移行支援事業においては、一般就労に向けた訓練や企業見学・実習等の支援を行いました。

①所在地：朝霞市上内間木493-9

②開所日：月曜日～金曜日

③利用者数(年度末)

サービス	平成28年度		平成27年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	15人	12人	8人	8人
就労移行支援	8人	3人		
就労継続B型	37人	30人	32人	33人
合計	60人	45人	40人	41人

④通所状況

- 送迎サービスの他、路線バス、自転車、徒歩等による自主通所  
(就労移行支援事業は自主通所のみ)

⑤主な作業内容

- 市内外の事業者からの請負作業

平成28年度		平成27年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
19社 社協2部署	3,607,259円	17社 社協2部署	3,159,959円	プラスチック部品組立、機械用オイル詰め・箱入れ作業、線香箱詰め、老人施設シート交換、洗濯物たたみ、資材梱包、施設内清掃等

- パンの製造販売

平成28年度より、施設内に設置されたパン工房【こんがりパンの店「フレア」】での店頭販売を開始しました。

販売場所(販売日)	平成28年度		平成27年度	
	販売回数	売上	販売回数	売上
店頭 (毎週水曜日)	43回	2,725,264円	34回	2,652,400円
浜崎農産物直売所 (毎週水曜日)	27回			
老人福祉センター (毎週木曜日)	11回			
市役所ブース販売 (毎月第2金曜日)	11回			
その他 (市内イベント等)	13回		4回	

- 社会参加活動等

自主製作品展示販売会、赤い羽根共同募金(街頭募金)周辺地域の清掃活動等

⑥就労支援(就労移行支援事業)

一般就労に向けて実施した作業訓練や企業見学・実習を通し、利用者1人が就労しました。

- 企業見学：5回(物流、販売、倉庫内作業、就労継続支援A型事業所)
- 企業実習：1回(就労継続支援A型事業所)
- 就職者数：1人(就労継続支援A型事業所)

⑦主な年間行事

- 保護者懇談会及び個別面談、日帰り課外体験研修、彩夏祭「鳴子踊り」、ふれあいスポーツ大会、もちつき会、消防訓練等

⑧保健衛生

- 利用者健康診断、精神科検診、歯科検診、成人病予防事業、音楽療法等

⑨ボランティアの受入れ

- 受入人数：4人
- 活動内容：利用者の作業見守り等

⑩ふれあいセンターの管理運営

○消防訓練（避難・消火・通報）の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、あさか福祉作業所利用者及び地域住民を対象に避難訓練等を実施しました。

なお、訓練当日、起震車の出動が叶わず急きょ中止となった地震体験訓練には、13人の地域の方の参加希望があり、地域住民との顔の見える関係性を築く第一歩の実感をえました。

- ・第1回 平成28年9月 2日 参加者：58人
- ・第2回 平成29年1月23日 参加者：62人

(3) 朝霞市老人福祉センター指定管理事業

60歳以上の高齢者が健康で明るい生活を営むための一助として、各種の相談や教室の開催を実施しました。

○利用状況

区 分	浜崎老人福祉センター	溝沼老人福祉センター
開 館 日 数	293日	293日
年 間 利 用 者 数	65,967人	72,622人
1日平均利用者数	225人	248人
個 人 利 用 者 数	57,417人	64,740人
団 体 利 用 者 数	2,915人	2,808人

○高齢者健康相談

区 分	浜崎老人福祉センター	溝沼老人福祉センター
実 施 日 数	月1回	月1回
相 談 件 数	39件	125件

(4) 朝霞市児童館指定管理事業

児童が健全な遊びを通して健康を増進し、情操を豊かにすること等を目的に実施しました。

○利用状況

児童館名	開 館 日 数		年 間 利 用 者 数		1日平均利用者数	
	平成28年度	平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度	平成27年度
きたはら	292日	292日	40,192人	37,752人	138人	129人
はまさき	293日	294日	33,548人	34,286人	114人	117人
みぞぬま	293日	294日	57,047人	58,462人	195人	199人
ねぎしだい	293日	294日	36,372人	36,754人	124人	125人
ひざおり	293日	293日	46,046人	47,371人	157人	162人
合 計	—	—	213,205人	214,625人	—	—

○主な年間事業

幼児・児童事業、交流事業、工作事業、合同事業、館外事業、調理事業、春まつり、夏まつり、クリスマス会等

(5) 朝霞市放課後児童クラブ指定管理事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している1年生から6年生の児童に対し、授業の終了した放課後及び夏・冬・春休み・土曜日等の学校休業日に放課後児童クラブにおいて家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

○放課後児童クラブの状況

クラブ名	定員		在籍数(年度当初)		延べ児童数	
	平成28年度	平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度	平成27年度
本町	134人	115人	145人	114人	1,586人	1,352人
朝志ヶ丘	185人	150人	152人	149人	1,756人	1,691人
岡	162人	120人	128人	121人	1,414人	1,312人
膝折	130人	93人	98人	97人	989人	1,063人
栄町	205人	135人	167人	135人	1,871人	1,574人
浜崎	148人	135人	144人	135人	1,638人	1,451人
泉水	165人	125人	139人	130人	1,658人	1,469人
幸町	138人	94人	110人	93人	1,253人	1,117人
根岸台	80人	80人	67人	60人	714人	646人
溝沼	140人	130人	114人	108人	1,195人	1,136人
合計	1,487人	1,177人	1,264人	1,142人	14,074人	12,811人

○主任会議・指導員会議の開催 1回/月

○主な年間事業

お誕生会、調理実習、季節の行事、伝承遊び等

9. その他社協関連事業

(1) 埼玉県共同募金会朝霞市支会の事務局(関連3ページ参照)

◇支会理事会の開催

○平成28年3月28日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席者12人

- ・平成28年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業計画
- ・平成28年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会寄付金会計・本部会計収支予算書

○平成28年5月27日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席者15人

- ・平成27年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業報告
- ・平成27年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会寄付金・本部資金収支計算書

○平成28年8月29日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席者12人

- ・平成28年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支補正予算
- ・平成28年度共同募金運動の実施について

◇赤い羽根共同募金

○期間：10月1日～3月31日

○目標：9,000,000円

○実績額：7,416,273円(埼玉県共同募金会へ全額送金)

(平成27年実績額：7,495,594円)

◇地域歳末たすけあい募金

○期 間：11月20日～3月31日

○目 標 額：5,463,000円

(平成27年目標額 5,185,000円)

○実 績 額：5,151,150円 (埼玉県共同募金会へ全額送金)

(平成27年実績額：5,185,258円)

(2) 日本赤十字社埼玉県支部朝霞市地区の事務局

◇日赤社員社資募集説明会

平成28年4月14日 朝霞市総合福祉センター 会議室

◇社員社資募集

○強調月間：5月1日～5月31日

○目 標 額：8,149,400円

○実 績 額：6,339,852円 (日本赤十字社埼玉県支部へ全額送金)